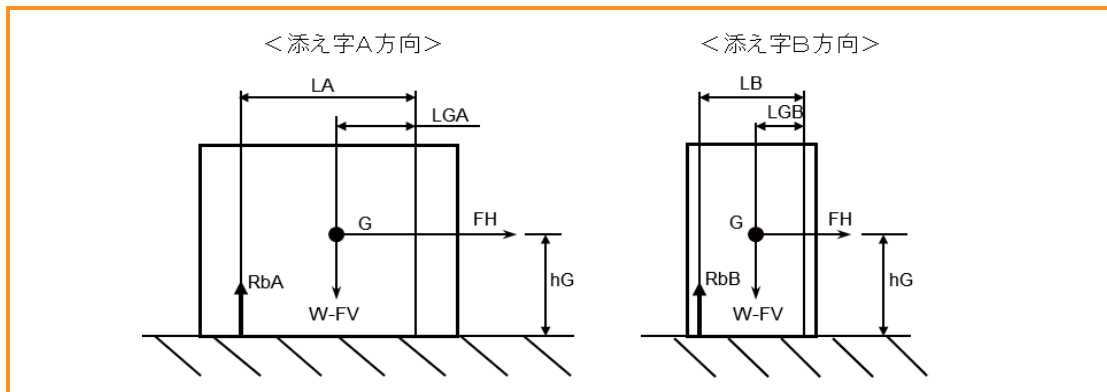


設備用ロスナイ耐震強度検討書

「LF-150X2-F60」耐震強度検討書



計算条件

お客様ご指定条件

▶ 製品質量	W =	290.0	kg	▶ ボルトから重心 までの距離	LGA =	850	mm
▶ 重心高さ	hG =	945	mm	▶ ボルトサイズ	LGB =	275	mm
▶ 製品上面～天井面 ボルトスパン	LA =	1700	mm	▶ ボルト総本数	n =	6	本
	LB =	550	mm	▶ 片側ボルト本数	ntA =	3	本
					ntB =	3	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0																
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0																
設計用水平震度	$KH=KS \times Z$	1.00	1.50	2.00																
設計用水平地震力	$FH=KH \times W \times 9.8$	2.84	4.26	5.68																
設計用鉛直地震力	$FV=FH/2$	1.42	2.13	2.84																
アンカーボルト引抜力	$R_b = \frac{FH \times h_G - (W \times 9.8 - FV) \times L_G}{L \times n_t}$ <p>* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB、nt: ntA又はntB</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">・ボルトスパンA側(RbA)</th> <th colspan="2">・ボルトスパンB側(RbB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.29</td> <td>kN</td> <td>0.67</td> <td>kN</td> </tr> <tr> <td>1.39</td> <td>kN</td> <td>2.32</td> <td>kN</td> </tr> <tr> <td>1.05</td> <td>kN</td> <td>3.26</td> <td>kN</td> </tr> </tbody> </table>			・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)		0.29	kN	0.67	kN	1.39	kN	2.32	kN	1.05	kN	3.26	kN
・ボルトスパンA側(RbA)		・ボルトスパンB側(RbB)																		
0.29	kN	0.67	kN																	
1.39	kN	2.32	kN																	
1.05	kN	3.26	kN																	
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ <p>A: ボルト断面積 M16 1.50 cm²</p>	0.32	0.47	0.63																
		kN/cm ²	kN/cm ²	kN/cm ²																

各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率

あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 施工方法: コンクリート厚さ150mm 埋込寸法70mm、限度120mm以下 短期許容引抜荷重: 9.2 kN	6.6	倍	4.0	倍	2.8	倍
あと施工接着系アンカーボルト 施工方法: コンクリート厚さ150mm 埋込寸法110mm、限度130mm 短期許容引抜荷重: 12 kN	8.6	倍	5.2	倍	3.7	倍

各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率

ボルト(SS400) 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	32.0	倍	21.3	倍	16.0	倍
ステンレスボルト(A2-50) 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	28.9	倍	19.3	倍	14.4	倍

以上の計算結果において、上記アンカーボルトM16はいずれも十分な強度を有する

- ・基礎の隅角部、辺部に打設するアンカーボルトは、コンクリート基礎にワレ、欠け等なきよう打設位置に配慮ください。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。